

(3)生活指導カリキュラム・学習指導カリキュラム・家庭生活スタンダード

			小学校低学年		小学校高学年		中学生	
発達上の特性			<p>○言葉と認識の力が高まり、ある程度時間と空間を超えた見通しが持てるようになる(自然等への関心も増す)。 ○他人の立場を認めたり、理解したりする能力が徐々に発達し、学校等での生活経験を通じ、集団の一員との意識をもつようになり、子どもたち同士でも役割を分担して行動したりするようになる。 ○善悪の判断は、大人の権威に依存してなされ、教師や保護者の影響を受けやすい。また、行為の動機よりも結果を基準とした道徳的価値判断を行う傾向が強いが、してよいこと・悪いことについての理解はできるようになる。</p>		<p>○自分のことも客観的に捉えられるようになる。 ○身体的にも知的・社会的にも成長し、有能感(又は、これに失敗し劣等感)を持つ。 ○集団の規則や遊びのきまりの意義を理解して、集団目標の達成に主体的に関わったり、共同作業を行ったり、自分たちできまりを作り守ろうとしたりすることができるようになる。 ○学校(学級)においては、幾つかの閉鎖的な仲間集団ができる。集団間の争いや、所属する集団への付和雷同的な行動も見られるようになる。 ○道徳的判断については、行為の結果とともに行為の動機をも十分に考慮できるようになる。理想主義的な傾向が強くなり、自分の価値判断に固執しがちになる。</p>		<p>○自意識と実態との差に悩む時期でもある。程度の差はあるものの周囲の期待に添って「良い子」として振る舞ってきた者も、様々な葛藤や経験の中で、自分の生き方を模索するようになる。 ○親への反抗期を迎え、特定の仲間集団の中に安息を見出すようになる。排他的であることをよしとし、仲間どうしの評価は強く意識するが、広く他者と意思疎通を図ることには意識が向かわない傾向がある。性意識が高まり、異性への興味・関心が大きくなる。 ○具体的な事柄に関して首尾一貫した思考が可能であるだけでなく、目に見えない抽象的な事柄についてもかなり深い思索ができるようになり、多くの人々からなる社会の存在を認識し、個人と社会との関係等についても理解できるようになる。</p>	
重視すべき課題			<p>・「人として行ってはならないこと」についての知識と完成の涵養 ・集団や社会のルールを守る態度の育成 ・善悪の判断や規範意識の基礎の形成 ・美しいものに感動する心の育成</p>		<p>・抽象的な思考への適応や他者の視点に対する理解 ・自己肯定感の育成 ・自他を尊重する意識や他者への思いやりなどの涵養 ・集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成 ・体験活動の実施など実社会への興味・関心を持つきっかけづくり</p>		<p>・自己のあり方に関する思考 ・社会の一員として自立した生活を営む力の育成 ・法やきまりの意識の理解や公德心の自覚</p>	
生活指導カリキュラム	項目		低学年		中学年		高学年	
	自立心	整理整頓	自立力	机・ロッカーの整理整頓ができる 履き物のかかとをそろえることができる	机・ロッカーの整理整頓をし、協力して教室内の環境美化を行うことができる 履き物のかかとをそろえることができる	机・ロッカーの整理整頓をし、協力して校内の環境美化を行うことができる 履き物のかかとをそろえることができる	身の回りの整理整頓を行い、積極的に校内や地域の環境美化を行うことができる 履き物のかかとをそろえることができる	
		清掃	社会力	用具(ほうき、ぞうきんなど)を正しく使い清掃することができる	分担場所を責任をもってきれいにすることができる	感謝の気持ちをもって、学校をきれいにすることができる	進んで清掃活動に取り組み、校内や地域の美化活動に取り組むことができる	
	規範意識	きまり	社会力	学校のきまりを守ることができる	学校や社会のきまりを理解し、守ることができる	学校や社会のきまりを理解し、守り、与えられた義務を果たすことができる	学校のきまりや法律について理解し、積極的に学校や社会の規律向上に努めようとする	
	健康な心と体	時間	社会力	登校時間をまもることができる	授業の開始時間を守ることができる	休み時間の中で授業準備を行い、授業を開始をむかえることができる	見通しをもって5分前行動をとることができる	
	社会生活とのかわり	あいさつ	自立力	自分から、元気よくあいさつすることができる	相手の顔と目を見て自分から元気よくあいさつすることができる	相手の顔と目を見て自分からはっきりあいさつすることができる	自分から進んで時と場に応じた気持ちのよいあいさつをすることができる	
		言葉遣い	社会力	「～です」「～ます」をつかうことができる		相手に応じて、敬語をつかうことができる	TPOに合わせ、適切な言葉づかいができる	
		思いやり	社会力	まわりの人に親切にすることができる	まわりの人に進んで親切にすることができる	相手の立場や気持ちを考え、お互いに助け合うことができる	まわりの人に感謝の気持ちをもち、他の人に対し、親切にすることができる	
	協調性(学びに向かう力)	目標への熱意	自立力	やらなければいけないことをしっかり行うことができる	やらなければいけないことに気づき、しっかり行うことができる	やろうと決めたことを最後までやりとおすことができる	決めたことに責任をもって取り組み最後までやり抜くことができる	
		忍耐力	自立力	わがままをせず、まわりの友達と生活できる	よく考えて行動し、ルールに従って生活できる	よく考えて行動し、ルールに従い責任をもって生活できる	自分のとった行動の結果について深く考え、責任をもって行動できる	
自己肯定感		自立力	自分の行動が役にたっていると思える	自分が頑張ったことが正しいと感じ、自分の良さを伸ばそうとする	自分の良いところがみんなの役に立っていると思える	自分は大切な存在であると思えることができ、自信をもって生活を送ろうとする		
学習指導カリキュラム	言葉による伝え合い	話す	社会力	話す内容を順序よくていねいな言葉で話すことができる	理由を添えて、筋道立てて丁寧な言葉で話すことができる	相手に応じて話す内容の構成を考え、工夫して話すことができる	TPOを考え、相手の立場を尊重して、お互いの考えが深まるような話し合いができる	
		聞く	社会力	話し手を見て話を聞くことができる	話しの内容を理解し、感想や質問を述べることができる	話す内容から自分の考えと比べることができる	話す内容から自分の考えと比べ、深め広げることができる	
	好奇心	意欲	自立力	様々なものに興味をもって関わる事ができる	興味・関心をもったものに対し、じっくり関わる事ができる	自ら課題を設定し、取り組むことができる	自ら目標を定め、積極的に目標到達に向かうことができる	
	文字などの情報	ノート	社会力	自分の考えをノートに書くことができる	理由を入れて自分の考えをノートに書くことができる	根拠を明確にして自分の考えを書くことができる	授業の内容をわかりやすくまとめ、自分の考えや発展的な内容についても書くことができる	
	思考力	思考スキル	自立力	思考ツールを効果的に使うことができる	思考ツールを使って考えをまとめることができる	思考ツールを使って考えを深めることができる	思考ツールを使って、意見交換を行い考えを深めることができる	
家庭生活スタンダード	生活リズム		自立力	早寝、早起き、朝ご飯を励行する	早寝、早起き、朝ご飯を励行し、生活リズムを整える	早寝、早起き、朝ご飯を励行し、生活リズムを整え、規則正しい生活をおくる		
	メディアとのかかわり		自立力	家庭で決めたルールや約束を守る		相手の立場を考え、正しい使い方をする	情報モラルに従って、情報メディアと適切に関わる	
			ノーメディアデーの設定(学期1回設定)					
	言葉による伝え合い	読書	自立力	本に親しみ、読書を楽しむ 月300ページ	様々な読み物に興味をもつ 月500ページ	目的によって読む本を考える 月700ページ	様々な分野の本を読む 月2冊程度	
	家庭学習の目安		自立力	1年生:20分以上 2年生:30分以上	3年生:40分以上 4年生:50分以上	5年生:60分以上 6年生:70分以上	1年生:70分以上 2年生:80分以上 3年生:120分以上	
自立心	前日準備	自立力	保護者と一緒に準備をする	自分で準備する	連絡帳を見て自分で準備する	明日の計画を考えながら必要なものを準備する		